

歴史学会 第8回歴史総合シンポジウム

自由論題報告

2025年10月5日(日) 11時～17時30分(10時30分開場)

明治大学駿河台キャンパス リバティータワー7階1074教室 / ZOOMによるオンライン開催

*歴史総合シンポジウムのみの参加も可能です

自由論題報告(11:00～12:40)

周 孟賢(東京大学大学院研究生)

日本統治初期台湾の犬管理政策の形成背景—明治期日本の脈絡—

中川 翼(東京大学大学院)

ブリテン帝国内部における紛争解決手段としての帝国裁判所構想の「挫折」

：土地年賦金をめぐる英愛両国の紛争を事例として

渡邊育子(フェリス女学院大学大学院)

フランスにおける文化と民主主義

—1982年「音楽の日」の成立とモーリス・フルーレー

歴史総合シンポジウム 「戦後80年」と歴史総合 (14:00～17:30)

内田圭亮(神奈川県立相模原中等教育学校)

歴史総合で核兵器について討論する～生徒の認識は討論によってどう変化したか

高柳昌久(国際基督教大学高等学校)

身近な軍事関連施設跡から何を学ぶか?

高野弘之(武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館)

公文書館が歴史総合に貢献できること～企画展『戦争と武蔵野』の取り組み～

藤田怜史(岐阜市立女子短期大学)

アメリカ歴史教育における戦時大量殺戮の位置づけ

—日本本土戦略爆撃と原爆投下—

ロサント・成田龍一(日本女子大学)



参加費無料(要参加登録)

登録締め切り10月4日正午

会場、オンライン共に参加をご希望の方は、上記のQRコードからPeatixを使ってお申込みください。シンポジウムの詳細は、歴史学会ウェブサイトでご覧になれます。



本シンポジウムに関するお問い合わせ先: rekigakuconf2025@gmail.com

歴史学会ウェブサイト: <http://rekishi-gakkai.org>

助成: 公益財団法人公文国際奨学財団 令和七年度国際教育関係団体助成事業



歴史学会ウェブサイト